

担当部局名：内閣府大臣官房遺棄化学兵器処理担当室

評価実施時期：平成21年8月

<p>施策名</p>	<p>遺棄化学兵器廃棄処理事業の推進</p> <p style="text-align: right;">【実績評価方式】</p>	<p>政策体系上の位置付け</p>																							
		<p>遺棄化学兵器廃棄処理</p>																							
<p>施策の概要</p>	<p>旧日本軍の遺棄化学兵器は、未だに中国の各地から発見されている。我が国は、化学兵器禁止条約上の義務を履行するため、これらの遺棄化学兵器が発掘された場合、速やかに発掘・回収を行っているところである。</p>																								
<p>施策に関する評価結果の概要と達成すべき目標等</p>	<p><b>【評価結果の概要】</b></p> <p><b>（総合的評価）</b>                  本事業の目的は、中国における遺棄化学兵器を安全かつ迅速に発掘・回収・処理することであり、化学兵器禁止条約上の義務を果たす本事業を推進することは日中の信頼関係の醸成等に極めて有効であると考えている。平成20年度においても発掘回収事業を着実に進めており、目標を十分に達成することができたと考えている。</p> <p><b>（必要性）</b>                  第二次世界大戦中、旧日本軍によって中国に遺棄された化学兵器（毒ガス兵器）について、化学兵器禁止条約（1995年批准、1997年発効）に基づき、日本は「遺棄締約国」として、中国における日本の遺棄化学兵器を廃棄する義務を負うこととなった。                  平成11（1999）年3月に、「遺棄化学兵器問題に対する取組について」が閣議決定され、それに基づき、同年4月に遺棄化学兵器処理担当室が総理府（現内閣府）に設置された。また、同年7月、日中間で覚書を締結し、環境と安全を最も優先しつつ、中国国内で廃棄を行うこと等を確認している。</p> <p><b>（有効性）</b>                  今回も無事故で終わらせることができたこと、また、発掘された798発の砲弾の全ての回収作業を終わらせることができたなどの成果を上げることができたことから、最後の総括会議の場で中国側からも、肯定的な評価を得るにいたったものである。よって、日中の信頼関係の醸成等にとって有効であったと考えている。</p> <p><b>（効率性）</b>                  事業を実施するに際し、バスで移動するなど、原則として全て全員で行動することにより効率化を図っているほか、必要な機材のうち防護衣など日本に持ち帰る必要がないものについては、北京の日本大使館に一時保管させてもらうことにより、往復の輸送費の軽減を図っている。また、現地における作業については、土砂の撤去等、中国側が実施したほうが効率的な作業については、中国外交部を通じてその作業を依頼するなど、費用を削減に鋭意努めている。</p> <p><b>（反映の方向性）</b>                  今後の大きな課題は、いかに安全に配慮しつつ、迅速かつ確実に発掘回収を進めることができるか、ということである。現在、河川の中からも砲弾等が発見されるなど、作業が困難な場所での発掘回収も今後予定されている。「迅速さ」と「安全性」はトレード・オフの関係にあるが、これまでの発掘回収の知見・ノウハウを活かし、知見のある人間の積極的な活用等を通じて、「安全かつ迅速な発掘回収の実施」という課題に取り組むことを考えている。</p> <p><b>【達成目標、達成状況、実績値、達成目標の設定の考え方】</b></p> <table border="1" data-bbox="411 1462 1469 1760"> <thead> <tr> <th rowspan="2">達成目標 (平成20年度)</th> <th rowspan="2">達成状況</th> <th colspan="2">実績値</th> <th rowspan="2">達成目標の設定の考え方</th> </tr> <tr> <th>19年度</th> <th>20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年度計画の発掘・回収対象範囲に対する実施面積の割合（100%）</td> <td>達成できた</td> <td>48.70%</td> <td>100%</td> <td>事前に計画されている実施面積のうち、平成20年度発掘回収において達成できた面積を積算する。</td> </tr> <tr> <td>中国吉林省敦化市蓮花泡で発掘・回収された砲弾数等（埋設されている砲弾等数の100%）</td> <td>達成できた</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>敦化市蓮花泡において発掘した砲弾のうち、回収することのできた砲弾数を積算する。</td> </tr> <tr> <td>発掘回収事業実施後の総括会議等における日本側の取組に対する中国側の評価（肯定評価）</td> <td>達成できた</td> <td>肯定評価</td> <td>肯定評価</td> <td>総括部会等において、敦化市蓮花泡における発掘回収事業に対する中国側の評価がどのようなものだったのか、記載する。</td> </tr> </tbody> </table>			達成目標 (平成20年度)	達成状況	実績値		達成目標の設定の考え方	19年度	20年度	平成20年度計画の発掘・回収対象範囲に対する実施面積の割合（100%）	達成できた	48.70%	100%	事前に計画されている実施面積のうち、平成20年度発掘回収において達成できた面積を積算する。	中国吉林省敦化市蓮花泡で発掘・回収された砲弾数等（埋設されている砲弾等数の100%）	達成できた	100%	100%	敦化市蓮花泡において発掘した砲弾のうち、回収することのできた砲弾数を積算する。	発掘回収事業実施後の総括会議等における日本側の取組に対する中国側の評価（肯定評価）	達成できた	肯定評価	肯定評価	総括部会等において、敦化市蓮花泡における発掘回収事業に対する中国側の評価がどのようなものだったのか、記載する。
達成目標 (平成20年度)	達成状況	実績値				達成目標の設定の考え方																			
		19年度	20年度																						
平成20年度計画の発掘・回収対象範囲に対する実施面積の割合（100%）	達成できた	48.70%	100%	事前に計画されている実施面積のうち、平成20年度発掘回収において達成できた面積を積算する。																					
中国吉林省敦化市蓮花泡で発掘・回収された砲弾数等（埋設されている砲弾等数の100%）	達成できた	100%	100%	敦化市蓮花泡において発掘した砲弾のうち、回収することのできた砲弾数を積算する。																					
発掘回収事業実施後の総括会議等における日本側の取組に対する中国側の評価（肯定評価）	達成できた	肯定評価	肯定評価	総括部会等において、敦化市蓮花泡における発掘回収事業に対する中国側の評価がどのようなものだったのか、記載する。																					